

## 第36回

## 霧島国際音楽祭

音楽監督：堤剛

日本で最も熱いフェスティバル！雄大な自然と音楽のハーモニー

7月15日(水)から8月2日(日)にかけて、霧島市の霧島国際音楽ホール(みやまコンセール)を  
メイン会場として県内各地で『第36回 霧島国際音楽祭』を開催します。世界一流のアーティストたちが奏でるコンサートやマスタークラス(講習会)など  
霧島国際音楽祭の魅力を紹介します。

36回目を迎える  
歴史ある国際音楽祭

今年で36回目の開催となる霧島  
国際音楽祭は、1980年にゲル  
ハルト・ボッセ(当時、東独ゲヴァ  
ントハウス管弦楽団第一コン  
サートマスター)が創設した日本  
で最も歴史ある音楽祭の一つです。

「受講生は霧島で学び成長すると、講師  
やアーティストとして音楽祭を支える」と  
いう伝統が根付いており、毎年数多くの観  
客と受講生が音楽を通じて充実した夏の  
期間を過ごします。

県内各地で行われる音楽祭を楽しみ、ク  
ラシック音楽に興味を持つきっかけにし  
てみてはいかがでしょうか。

鹿兒島中が音に染まる  
魅力溢れるコンサート

世界各地で活躍する60人余りの旧知の  
名手たちが、年に一度

霧島に集い、受講生も  
交えて2週間にわたり  
音楽の祭典を繰り広げ  
ます。

【問い合わせ先】

霧島国際音楽ホール(みやまコンセール)

☎0995(78)8000



霧島神宮かがり火コンサート

## 第36回 霧島国際音楽祭 特徴とポイント

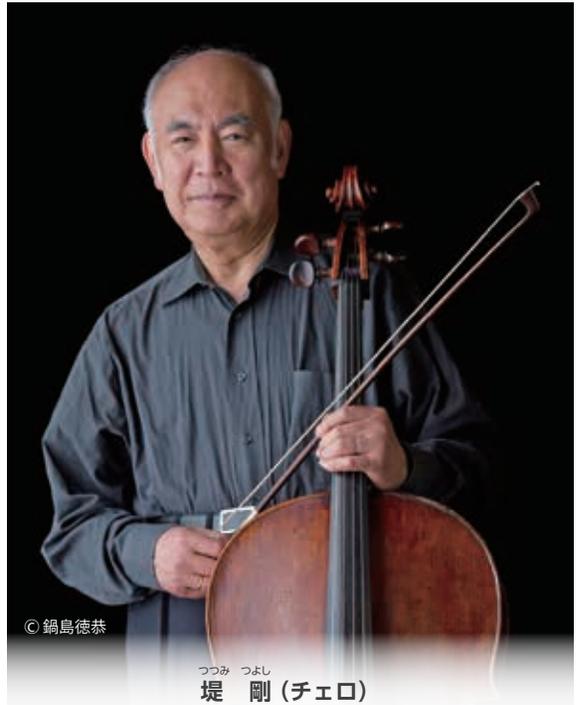
今年もまた、「日本で最も熱いフェスティバル」が始まります。霧島国際音楽祭は、満員の聴衆を沸かせた一昨年、東京公演に引き続き、昨年、初の海外公演となった台北公演を成功させることができました。この2年間の県外での公演の成功は、霧島国際音楽祭が35年にわたって、じっくりと培ってきた質の高さを、より多くの方に知っていただくこととなり、霧島国際音楽祭の歴史の中で大きな節目となりました。これもひとえに、この音楽祭を愛し応援して下さった皆さまのお陰でございます。

改めてお礼を申し上げます。今年は、鹿児島に集中して、ますます充実した内容の濃い音楽フェスティバルとして、開催させていただきます。

日本国内はもとより、世界各地から素晴らしい音楽家たちが集い、重厚なオーケストラから、心にしみわたる室内楽、ソロまで、音楽祭という特別な場ならではの、今ここでしか聴けない熱い演奏を繰り広げます。

この夏のひと時、音楽の熱い感動を、皆さまと共に分かち合えることを楽しみにしております。

### 堤剛音楽監督からメッセージ



© 鍋島徳恭

つづみ つよし  
堤 剛 (チェロ)

名実ともに日本を代表するチェリスト、堤剛音楽監督が、クラシックの聖書とも言われる大作、バッハの「無伴奏チェロ組曲」を全曲演奏!



エリン・ヴィルサラゼ (ピアノ)

世界最高峰のピアニスト、エリン・ヴィルサラゼが霧島を大いに気に入って今年も参加。最高レベルのマスタークラスのほかりサイタルや室内楽を開催します。また1988年第8回から音楽祭と深い縁のあるベトナム出身の国際的ピアニスト ダン・タイ・ソンが霧島国際音楽祭で初めてピアノ協奏曲を演奏。ファイナルコンサートでラヴェルの名曲「左手のためのピアノ協奏曲」を披露します。



キリシマ祝祭管弦楽団

鹿児島県出身の指揮者下野電也と、霧島国際音楽祭の講師やアーティストで構成された特別オーケストラ「キリシマ祝祭管弦楽団」が、ベートーヴェンの「交響曲第4番」を、さらに、2002年にチャイコフスキー国際コンクール最高位を受賞した川久保陽紀を迎えて、モーツァルトの「ヴァイオリン協奏曲第2番」を演奏します。



アンドレア・ロスト (ソプラノ)

世界5大歌劇場を制覇したプリマドンナ、ソプラノのアンドレア・ロストが、みやまコンセールとザビエル教会でオペラ・アリア満載のリサイタルを開催。まさに音楽祭ならではの贅沢なコンサートです。

### 奇跡のホールと称される「みやまコンセール」



みやまコンセールは、1994年、音楽祭のために建設され、国際音響学会で「奇跡のホール」と称賛されたホールです。外観は外洋に乗り出す船をイメージしています。また、55,000㎡の敷地には菩提樹に散策路と、自然と音楽を満喫できる特別な空間になっています。

### 「音楽家の学び」に触れられる公開マスタークラス

世界の名演奏家が、連日一対一のレッスンをを行います。音楽祭の原点であり、現在も大きな柱の一つであるマスタークラスは一般に公開されています。毎年、緑豊かな霧島の地で、レベルの高い指導が繰り広げられます。



詳しくは、音楽祭公式HPをご覧ください。 → <http://www.kirishima-imf.jp/>